

ワルシャワ蜂起80周年記念 映画上映会・講演会

特別展「ワルシャワ。灰から甦る不死鳥」開催にあわせて

2024
8/9

金

15:00～18:00

北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター
4階大会議室 (403)

・ 開会のごあいさつ (5分)

・ 映画上映 (85分)

「ワルシャワ蜂起」 Powstanie Warszawskie

第二次世界大戦末期のワルシャワ蜂起を描いた
ドキュメンタリー作品

監督: ヤン・コマサ

2014年 ポーランド 日本語字幕

・ 休憩 (15分)

・ 講演 (60分)

「ワルシャワ蜂起を抱きしめて—
ポーランドの戦争と平和」

吉岡潤: 津田塾大学教授

・ Q&A (15分)



写真89:ワルシャワ蜂起博物館所蔵、撮影者 S. Braun "Kris"

吉岡 潤(よしおか じゅん)

津田塾大学学芸学部教授。専門はポーランド現代史、現代ポーランド社会における歴史認識問題。主な著書に『戦うポーランド—第二次世界大戦とポーランド』(東洋書店、2014年)、共著に『岩波講座世界歴史01—世界史とは何か』(岩波書店、2021年)、共訳書に『ポーランドの高校歴史教科書【現代史】』(明石書店、2005年)など。

ワルシャワ蜂起は第二次世界大戦終盤の1944年にポーランドで起こった武装蜂起です。占領者ドイツに果敢に挑みながらも敗北したワルシャワ蜂起は、ポーランドの主権と独立を回復するための英雄的な戦いのシンボルとして多くのポーランド人の心に刻まれています。ポーランドの人たちにとってワルシャワ蜂起とは何だったのか。蜂起80周年を迎えた今、戦うことと平和の意味について考えてみたいと思います。

主催: ポーランド広報文化センター、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター、北海道大学文学研究院北方研究教育センター



北海道大学 スラブ・ユーラシア研究センター
国際的な生存戦略研究
プラットフォームの構築

